

○市長（染谷絹代） 8人の女性議員の皆様方、今日の質問、議員として登壇した感想はいかがでしたか。大変緊張もされたと思います。しかし、市民目線の鋭い御指摘、そして的確な御質問をいただきました。本当にありがとうございます。

私どもといたしましても、こうやって皆様方に御質問いただくおかげで、市の施策を市民の皆様によりわかっていただける、そういう場を提供していただいたとも感謝しております。本当にありがとうございます。

また、議長にも大変お世話になりました。ありがとうございます。

これからのまちづくりを考えたときに、一番最初でもお話を申し上げました。市民の皆様一人一人がやはり意識を持って、市がどんなことをやっているのだろう、あるいはこれからの政策はどういうふうにあるべきなのかというようなことを身近に感じていただけるように、私も今後、今まで以上に、今までも市長と語る会、あるいは市政報告会、タウンミーティング等で出ておりますが、もっともっと多くの機会、細やかに地域に出て、地域の実情やこれからの考え方というのをお知らせしていかなければならないと思っております。

現在、島田市では地方創生に伴うまち、ひと、しごとの総合戦略の策定作業を進めております。その中で、人口ビジョンというものをほぼ固めました。これは社人研といまして国の機関によりますと、島田市がこのままの状況で推移して少子高齢化が進んでいくと、2040年には人口が7万8,000人ぐらい、2060年には6万人程度になってしまうというような統計が出されました。それに対してさまざまに雇用を生み出し、若い人たちに選ばれるまち、そして、ここに住みやすいまちをつくることによって、2060年度に人口8万人目指すという人口ビジョンを打ち立てました。この人口8万人を目指すために、今後どのような施策をもってこのまちに雇用を生み出し、若い人に移り

住んでいただき、ここに住んでいただく方々に島田はいいまちだ、住みやすいとこれからもずっと思っていたらけるように、最初の5年間に何をするのかということを決めるのが総合戦略というものでございます。島田市は10月末にこの策定を目指して今、一生懸命頑張っているところでございます。

また、子育て、3人目から以降、子どもを産むと昔、30万円ほど、40万円、6人以上だと100万円でしたでしょうか。地域振興券といいますか金券が出ていたのに、それがあるといいというお声は私も幾つか伺います。あれはまさしく子どもを産んだ方にとっては思わぬ支援のお金で、財政的支援ということでは大変役に立ったと思います。ただ、少子化対策としては、では100万円あげますから、あなた、もう一人お子さんを産みますかと言ったら、やはりそんなふうにもう一人の判断というわけにはいかない。いわゆる財政的支援ということでの効果はあったけれども、少子化対策としてもう一人子どもという産むという決断に至るには、産んだ後の子育て支援の体制がより充実していることがもっともっと大事なのだと思うのです。ですから、今後、待機児童のゼロを目指し、かつまた放課後児童クラブもより充足率を高めて、希望する皆さんが入っていただけるようにしていく。子育てコンシェルジュやさまざまな子育てをしているお母さん方のニーズをしっかり受けとめて施策をつくってまいりたいと思います。

また、私は子育て支援の島田市の政策の柱として、子どもを真ん中に子育て応援都市島田というものを考えております。この子どもを真ん中というのは、その施策が子どもにとってより良い影響があるのかどうかということでございます。例えば、子どもを10時、11時まで預かることが子どもの成長と発達に本当にいいことかどうかということを考えてときに、私はそこまで今は考えておりません。また、医療費は無料化ということで競

って近隣の市町もやっているところがございます。この医療費の無料化も、確かに無料だったら助かります。それはよくわかります。でも、無料だから、薬局に行って薬を買うより安いから病院に連れていくというようなことであっては、医師も疲弊してしまいますし親も育ちません。やはり我が子が本当に今、病院へ連れていかなければいけないのか、あるいは薬局さんで売っている薬で何とか治るものなのか、そんなこともやはり考えていただかなければならない。ですから、子育てしている人たちにとって、島田市は県内でも本当にトップクラスの子育て支援のまちでございますが、よりよく子育てしている方たちのニーズに沿った支援体制、そしてまたそれが子どもの成長と発達につながって、ふるさと島田を大好きになる、やはりそういう子どもたちを育てていくということが方針だと思うのです。

言葉は過ぎるかもしれませんが、親御さんを楽させる施策が子育て支援ではありません。私はそのところはしっかりと一線を画して、これからも子育て支援政策というものを推し進めていきたいと思えますし、まだまだ私どもが気がつかない点がございましたら、ぜひともお声をいただいて、より充実したまちにしていきたい。

そして今、島田市は婚活支援事業等にも力を入れておりまして、出会いの力創造事業といいまして、まず婚活する前にどんな服を着ていったらいいのか、最初にどんな一声をかけたらいいのかと、そのような出会いの力創造事業というようなこともやっております。親御さんのマッチング、適齢期の男女の出会いだけではなくて、適齢期の子どもを持つ親の出会いというような支援までいたしております。そして、いざ本番の適齢期の男女の出会いということも3段階でやっております。本当にさまざまところで出会いから結婚、妊娠、出産、子育てに至るまでトータルで住みよいまちをつくっていききたい。

また、高齢者にとっても優しいまちでありたいと思っております。そうしたきめ細やかな政策を通して、このまちを選んでいただける人たちがもっともっと増えますように。

そして、まだまだ私、今日の一般質問をお聞きして反省点は、市は一生懸命やっている施策がございますが、まだまだ市民に浸透していない、情報が伝わっていないということもつくづく感じた次第でございます。さらに一人一人の職員が、自分たちが発信していかなければならないのだというところまで意識改革を徹底して、行政のやっていることが市民に伝わっていくようにしっかりと伝えてまいりたいと思えます。

今日は短い時間でありましたけれども、皆様方の御意見を聞かせていただくことができて本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。